



2019年8月25日

報道関係各位

第14回まちづくり合同ゼミナール「松本を実際に歩いて、松本の新しい魅力を創造しよう！」

取材のお願い

拝啓

残暑の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。さて毎年恒例の日本大学および明星大学と松本大学観光ホスピタリティ学科の4ゼミとの合同ゼミが今年も行われます。

今年で14回目になる合同ゼミは、東京と松本の学生がそれぞれの視点から松本の街づくりを考える機会として毎年日本大学と松本大学の学生が参加して行われます。これまで、まちづくりや商品開発などの調査や検討などを行い、スイーツラリーやカフェあげつちの開設、駅弁開発や日本酒チョコレートなどの具体的な成果に結びつきました。東京の学生の視点と地元の学生の視点を重ねることで新しい発見が毎年あり、その後のゼミナールによるまちづくりの活動の具体的なきっかけになっています。

本年度も、松本大学の学生が日ごろから取り組んでいる地域づくりの活動を外からの視点を取り入れてさらに発展させることを狙い、6つのプログラムに挑戦します。特に本年度は駅西地域のまちづくりの新しい取り組みのきっかけとして具体的な活動を予定しています。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、取材方よろしくお願ひいたします。

敬具

記

テーマ：松本を実際に歩いて、松本の新しい魅力を創造しよう！

日時：2018年9月2日（月）～4日（水）

参加者：日本大学高橋雅夫ゼミ・明星大学高橋和子ゼミ・松本大学増尾・白戸・畑井・向井ゼミ・
デパートサミット支援会ゆにまる 合計約80名

場所：松本大学・松本市内

協力：カフェあげつち・大正ロマンのまちづくり協議会・上土商店街振興組合・同女性部・入山辺地区地域づくりセンター・するじゃん会・田川地区児童センター・巾上西町会など

内容：別紙のとおり

問い合わせ先 松本大学 白戸研究室・向井研究室 0263-48-7200

以上



【別紙①】

2019年 まちづくり合同ゼミナール

1 目的

日本大学・明星大学と松本大学の学生が、大学を超えて実際に地域に出かけ、まちづくりについて考えるとともに、若者の発想をまちづくりに活かすきっかけとする。

2 日程 2019年9月2日(月)～4日(水)

9月2日	13:30	開講式・日程説明	松本大学 515 教室
	14:15	プログラム別活動(準備作業等)	
9月3日	終日	プログラム別活動(地域での活動・まとめ・発表の準備)	
9月4日	10:00	成果発表・まとめ(12時終了)	松本大学 515 教室

3 場所

松本大学・巾上西町会・上土商店街・松本市中心市街地

4 プログラム

- プログラム① 中山間地の活性化のアイデアを考えよう!
- プログラム② 子どもの育ちを支える地域づくりを考えよう
- プログラム③ 大正ロマンの上土のまちの歴史を探ってみよう!
- プログラム④ 観光マップの在り方を考える
- プログラム⑤ 白地図を使ってまち歩きを楽しもう
- プログラム⑥ 松本駅アルプス口周辺のまちづくりを考える



【別紙②】

プログラム① 中山間地の活性化のアイデアを考えよう！

1. 概要

- ・ 入山辺地区のまちあるきを通して、中山間地の地域資源の発掘に取り組む。
- ・ 入山辺の豊かな農産品と食文化を知り、「中心市街地との交流の場の創出」を念頭においた食のPR方法について考える。
- ・ これまでの入山辺地区の地域づくりの歴史と活動を学び、中山間地の抱える課題を知るとともに、今後、取り組めそうな地域活性化のアイデアを模索する。

2. 参加メンバー

- ・ 松大生 4人 ・ 日大生・明星大生の参加受け入れ人数 5～10人（最大15人）

3. 日程

9月2日（月）大学で事前準備

- ・ 自己紹介
 - ・ グループとして取り組んできたこと、関心の共有
 - ・ 入山辺地区についての紹介（担当：松大生）

9月3日（火）入山辺地区にてフィールドワーク

9:00～入山辺地区地域づくりセンター集合、当日のスケジュール等説明

9:15～12:00 地区見学（ウォーキングマップ使用、約6km散策）

12:00～13:00 昼食

13:05～ するじゃん会紹介ビデオ視聴

13:15～ するじゃん会の概要等説明（桐原さん）

13:45～ 質疑応答

13:50 小休憩

14:00～17:00 振り返りとまとめ作業

17:10 入山辺地区地域づくりセンター出発

9月4日（水）まとめ・成果発表

4. 活動の具体的内容

（1）入山辺地区散策

- ・ 入山辺地区の地域活性化に取り組む「するじゃん会」の活動の成果を見て回る
- ・ 入山辺地区の地域資源の発掘し、それらの地域資源の活かし方を考える
- ・ 散策の途中にて山辺ワイナリー及びファーマーズガーデン見学をする。入山辺の特産品が販売されているので、それらを見ながら地域産品の販売戦略を考える。（あわせて「買い物」も兼ねる）

■本件に関するお問合せ先

松本大学 白戸研究室・向井研究室 TEL 0263-48-7200(代表)



学校法人松本学園

松本大学

PRESS RELEASE

[発信] 松本大学入試広報室

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1

TEL0263-48-7201 FAX0263-48-7291

<http://www.matsumoto-u.ac.jp>

【別紙③】

(2) 昼食

- ・「するじゃん会」食農グループによる振る舞い。
- ・地元産の生鮮野菜の使われ方と入山辺地区の食文化を知り、上土での野菜市を念頭に置いた PR 戦略を考える。

(3) 「するじゃん会」の取り組みを聞く

- ・入山辺地区における地域づくりに取り組んできた「するじゃん会」の活動を聞く。
- ・中山間地の抱えている課題を知り、課題解決のためのアプローチを考える

5. 注意事項

- ・荒天時の代替案を検討中。
- ・天候により日焼け対策や虫よけ、雨具等準備のこと。
- ・昼食代に関しては、実費程度（300～500 円程度）を徴収予定。

6. 準備するもの

- ・各自) 歩きやすい靴・服装、タオル、帽子、飲み物
- ・全体) カメラ、模造紙、マジック、筆記用具、入山辺地区マップ

作成者 向井ゼミ 4 年 (食グループ)

プログラム② 子どもの育ちを支える地域づくりを考えよう

1 概要

ここ近年、子どもの経験の不足が問題になっている中で、地域で子どもを育てる環境をつくっていくためにはどうすればいいかを考える機会にする。

2 参加メンバー

- ・松大生 4 人 ・日大生・明星大生の参加受け入れ人数 5～10 人

3 日程

9 月 2 日 (月) 大学で事前準備

- ・自己紹介
- ・田川地区についての紹介 (担当: 松大生)
- ・子どものころどんな遊びをしていたのか、どんな環境で育ってきたのかを出し合い、子どもの育ちにとって望ましい環境とは何かを話し合う

■本件に関するお問合せ先

松本大学 白戸研究室・向井研究室 TEL 0263-48-7200(代表)



【別紙④】

- 9月3日（火）田川地区をまち歩き（→計画中）
昼食は田川地区周辺のお店で食べる
児童館・公民館に聞き取り調査（→交渉中）
聞き取りの振り返り（→場所交渉中）
- 9月4日（水）まとめ・成果発表

4 活動の具体的内容

(1) まちあるき

- ・子どもたちに伝えたい地域文化や自然環境、子どもの遊び場の充実度、子育て支援関連のスポット、子どもにとって危ない場所（交通量が激しい、事故の危険あり）などを見て回る。

(2) 子どもの実態調査（公民館・児童館）

- ・田川地区の児童館・公民館を訪問して、田川地区の子どもたちの実態や子どもたちのための地域活動の実態を聴き取る。

5 注意事項

- ・[重要]児童館・公民館に関しては、活動内容についての事前説明を丁寧に行うこと。またアンケートをとる場合には事前に準備を行うこと。
- ・二日目の昼食はまち歩き中にお店で食べる。

6 準備するもの

カメラ、ICレコーダー、模造紙、マジック、筆記用具、マップ

作成者 向井ゼミ4年（子どもグループ）

プログラム③ 大正ロマンの上土のまちの歴史を探ってみよう！

1、概要

昔の写真を使い「今の松本」を探しに行こう！

→昔の写真にぴったりリンクするように実際に松本の街を歩きます。写真からヒントを読み取り松本の歴史の謎を解きましょう。

- ・事前学習(当日までに日大生・明星大生に行ってきたほしいこと)

→松本市の上土はどこにあるか、またどのような古い建物があるかを調べてきてください。

■本件に関するお問合せ先

松本大学 白戸研究室・向井研究室 TEL 0263-48-7200(代表)



学校法人松本学園

松本大学

PRESS RELEASE

[発信] 松本大学入試広報室

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1

TEL0263-48-7201 FAX0263-48-7291

<http://www.matsumoto-u.ac.jp>

【別紙⑤】

2. 参加メンバー

- ・松大生 10人位
- ・日大生・明大生の参加受け入れ人数 5～10人

3. 日程

9月2日（月）大学で事前準備

- ・自己紹介
- ・上土商店街とこれまでの取り組みについて紹介
- ・2日目の活動内容についての説明

9月3日（火）

- ・日大生・明大生に上土を案内（松大生）
- ・電気館の取り組みについて三村さんに講演していただく
- ・松本に昔あった映画と現在の場所とを比較する。（仮）

9月4日 まとめ・成果発表

- ・日大生・明大生に今後の電気館の活用方法について聞いてみる。

4. 活動の具体的内容

- ・松大生は今まで調べてきた知識を踏まえて日大生と明大生に上土を案内する。
- ・電気館に詳しい三村さんに電気館の取り組みについて講演していただき、松大生は今後のゼミに活かす。日大生・明大生は講演から自身の街の新たな街づくりの可能性を考えてもらう。
- ・映画館をテーマにした街歩きはそれぞれどんな特色があったのか人々にとってどんな位置づけだったのかを街歩きをしながら、見つけていく。

5. 注意事項

- ・松大生は今までの知識を元に上土について説明できるようにする。
- ・2日目の昼食は、人数が多い場合2. 3店舗に分かれて入店をし、昼食をとる。

6. 準備するもの

電気館に関する資料、昔の町名の地図、バインダー 大きいメモ帳 筆記用具

作成者 向井ゼミ4年（歴史グループ）

■本件に関するお問合せ先

松本大学 白戸研究室・向井研究室 TEL 0263-48-7200(代表)



【別紙⑥】

プログラム④ 観光マップの在り方を考える

～ アンケート調査や観光ルート作成を通して

1. 概要

観光ルートを作成し、まち歩きをすることで上土通りの新たな観光ルートを提案する。

また、アンケート調査を行い、上土通りの知名度や観光マップの利用状況などを明らかにする。

*事前学習（当日までに日大生・明星大生に行ってきたほしいこと）

・良いと思った観光マップを探し、持ってきてもらう（マップは1つの通りだけのものや市内全体などでも可。実物かダウンロードしたものを印刷してくる）。また、そのマップのどこに魅かれたかなどまとめてくる（形、見やすさ、分かりやすさなど）。

2. 参加人数

松大生、日大生、明星大生

3. 日程

9月2日（月）

- ・自己紹介
- ・グループ分け（1グループに松大生2人+日大・明星大生3～4人）
- ・観光マップに関する意見交換
- ・翌日の詳細決定（観光ルート作成、アンケート用紙についてなど）

9月3日（火）

- ・前日作成した観光ルートをまわる
- ・昼食はグループごととする
- ・アンケート調査の実施
- ・上土の魅力进行调查する
- ・全体で集合し、発表に向けた準備を行う

9月4日（水）

- ・まとめ、成果発表

活動の具体的内容

・松本市街地の観光ルート作成

→グループごとに上土通りを含む観光ルートを作成し、実際にまち歩きすることで、松本観光の実態を知る。観光ルートは、今後のマップ作りに活かす。

・アンケート調査（全体で20人以上目標）

→上土の知名度及び観光マップの利用状況に関する調査を行う。

■本件に関するお問合せ先

松本大学 白戸研究室・向井研究室 TEL 0263-48-7200(代表)



【別紙⑦】

4. ・上土の魅力調査

→ 日大生・明星大生からみた魅力を調査し、今後のマップ作成に活かす。

5. 注意事項

- ・まち歩きの際に暑さが想定されるため、水分補給、服装に注意する。
- ・アンケートを取る際は、迷惑にならないよう配慮する。

6. 準備するもの

カメラ、パソコン、バインダー、筆記用具、
まち歩きに必要なものを各自で用意する（飲料、傘、帽子など）

作成者 白戸ゼミマップグループ3年

プログラム⑤ 白地図を使って「まち歩き」を楽しもう

2. 概要

- ・白地図を使った「まち歩き」を通じて、上土を知ってもらおう！
→従来型のマップではなく、白地図を使った「まち歩き」を通じて、
「新たなまち歩き」の可能性について検証することが当プログラムのねらい！

- ・事前学習（当日までに日大生・明星大生に行ってきて欲しいこと）

→「まち歩き」をする際に、ワクワクするようなツールとして、どのようなものが想定できるか、各自でリサーチをし、その理由も含めて考えてきて頂きたい。

3. 参加メンバー

- ・松大生 5人
- ・日大生・明星大生の参加受け入れ人数 5～10人

4. 日程

9月2日（月）大学で事前準備

- ・自己紹介
- ・上土商店街、これまでの取り組みについての紹介（担当：松大生）
- ・今後のゼミにおける活動計画についての紹介（担当：松大生）
- ・2日目の活動内容の説明（担当：松大生）

9月3日（火）実際に白地図を使って「まち歩き」を実施

■本件に関するお問合せ先

松本大学 白戸研究室・向井研究室 TEL 0263-48-7200(代表)



【別紙⑧】

- ・今回の「まち歩き」で得られた情報・感想等の共有
- ・KJ法を用いて、「新たなまち歩き」の可能性について議論
- ・成果発表に向けた準備

9月4日（水）まとめ・成果発表

5. 活動の具体的内容

- ・松大生と日大生・明星大生を混合する形で2グループを形成
- ・白地図（※以下の“白地図のイメージ”を参照）を使って、
グループ単位で「まち歩き」をしてもらい、上土を知ってもらう！
- ・今後のゼミ活動に活かすため、「まち歩き」の途中で、
各自で興味をもったモノの写真を撮ってきてもらい、画像データを共有させて頂く！
（※画像データの共有方法及び活用方法については要説明）
- ・今回の「まち歩き」で得られた情報・感想等の共有をした上で、
KJ法を用いて、「新たなまち歩き」の可能性について議論をする！

【白地図のイメージ】 ※当日までに松大生が準備します

① まっさらな「白地図」



② 文字情報を加えた「白地図」 ⇒ 最小限の文字情報を載せたもの

例：お店のヒント、フォトスポットなどの文字情報が示されている白地図



■ 本件に関するお問合せ先

松本大学 白戸研究室・向井研究室 TEL 0263-48-7200(代表)



【別紙⑨】

6. 注意事項 [重要]

- ・上土町会・上土商店街に対しては、活動内容についての事前説明を行うこと。また可能な範囲で、活動内容を周知して頂けるような準備を行うこと。
- ・2日目の昼食は、「まち歩き」の途中でグループ単位で食べること。

7. 準備するもの

白地図 (マップ)、カメラ、スマートフォン、筆記用具、パソコン、模造紙、付箋

作成者 畑井ゼミ3年

プログラム⑥ 松本駅アルプス口周辺のまちづくりを考える

1 概要

アルプス口周辺におけるJRによる開発計画などが検討され始めた中で、住民主体によるまちづくりの20年の歴史を踏まえて今後のあり方を考えることが求められており、今回はそのきっかけとしたい。今回1回で終わるのではなく今後松本と東京で継続的に取り組みを行いたい。

2 参加人数

松大生、日大生、明星大生

3 日程

9月2日 (月)

- ・グループ分け (松大生3人+日大・明星大生8人 計11人)
- ・駅西地区に関する説明
- ・翌日の詳細決定 (観光ルート作成、アンケート用紙についてなど)

9月3日 (火)

午前中 テーマを決めてフィールドワーク 集合10時 いばらん亭

(空き家・買い物・観光・文化資源・駅前広場の活用・いばらん亭の今後のあり方等)

午後 シンポジウム

巾上のまちづくりのこれまでと今後 高橋先生・筒井町会長

グループディスカッション

発表

- ・昼食はグループごととする
- ・アンケート調査の実施
- ・全体で集合し、発表に向けた準備を行う

■本件に関するお問合せ先

松本大学 白戸研究室・向井研究室 TEL 0263-48-7200(代表)



学校法人松本学園

松本大学

PRESS RELEASE

[発信] 松本大学入試広報室

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1

TEL0263-48-7201 FAX0263-48-7291

<http://www.matsumoto-u.ac.jp>

【別紙⑩】

9月4日(水)

- ・まとめ、成果発表

3 活動の具体的内容

- ・ 1日目は日大・明星大の学生たちと自己紹介を行い、その後2日目に活動する拠点である駅西地区の紹介をパワーポイントで説明する。また2日目に行うフィールドワークについても説明しておく。
- ・ 2日目は朝10時頃から駅西地区で2グループ(空家と買い物問題・観光資源・歴史など)に分かれて歩いて巾上地区や渚周辺を調査する。午後は巾上の公民館をお借りし、地域の方々もお招きし、シンポジウムを行う。流れとしてはまず白戸先生に司会をしてもらい筒井さんたちに巾上についてのお話を伺う。その後グループに分かれて地域の方々とはディスカッションをする。終わり次第調査結果と地域の方々から聴いたお話を踏まえて発表に向けた準備を行う。
- ・ 最終日→まとめと成果発表

4 注意事項

- ・ まち歩きの際に暑さが想定されるため、水分補給、服装に注意する。
- ・ アンケートを取る際は、迷惑にならないよう配慮する。

5 準備するもの

カメラ2台、パソコン、バインダー、筆記用具、スクリーン

まち歩きに必要なものを各自で用意する(飲料、傘、帽子など)

作成者 白戸ゼミ駅西グループ3年

■本件に関するお問合せ先

松本大学 白戸研究室・向井研究室 TEL 0263-48-7200(代表)